

まるこ みちしま 丸子氏と道嶋氏のおはなし

～牡鹿郡を治めた豪族～

1

古く牡鹿郡を治めた道嶋氏は、上総国伊甚屯倉（現在の千葉県南東部）から移住してきた丸子氏の氏族と考えられています。



2

伊甚屯倉は房総半島の太平洋岸に位置していました。「屯倉」とは朝廷の直轄地のことです。



3

丸子氏は現地の有力な農民層であったとみられています。矢本横穴の造営が大化の改新の頃（飛鳥時代の中頃）には始まっているので、この頃には丸子氏はこの地に移住してきたと考えられます。



4

一族のひとり丸子嶋足は天平19(747)年頃に、奈良の都に「授刀舎人」として出仕しました。



5

そして天平勝宝5(753)年に嶋足は「牡鹿連」の姓を賜りました。



6

さらに、天平宝字8(764)年の藤原仲麻呂の乱のときには、上皇方につき、武勲をたてたことにより、それまでの従七位上から従四位下に昇進し、貴族の仲間入りを果たしました。



7

地方豪族が貴族になることはほとんどありませんでしたから、異例の大出世でした。さらに、「道嶋宿禰」を賜った嶋足は、神護景雲元(767)年に陸奥国大国造となり、一族とともに、陸奥国全般に権力を持つようになりました。



8

その後の道嶋一族も伊治城の造営や蝦夷征討の際に活躍をしました。

道嶋一族



がんばりました!

古代の東北地方随一の豪族であった丸子・道嶋氏の足跡を、赤井官衙遺跡群によってたどることができます。

古墳時代	飛鳥時代	奈良時代	平安時代
593~622 聖徳太子摂政	645 大化の改新	701 大宝律令	794 平安京遷都
赤井遺跡Ⅰ期	赤井遺跡Ⅱ期	赤井遺跡Ⅲ期	
720 蝦夷の反乱	724 多賀城造営 (この頃牡鹿郡設置)	753 丸子嶋足、牡鹿連の賜姓	802 胆沢城造営 (道嶋御桶活躍)
	710 平城京遷都	764 藤原仲麻呂の乱 (牡鹿連嶋足活躍)	
		767 伊治城造営 (道嶋宿禰三山活躍)	
		774 蝦夷の反乱 (三十八年戦争勃発)	
		780 伊治公麻呂の乱 (牡鹿郡大領、道嶋大楠死去)	
		783 道嶋宿禰嶋足死去	